

2025年3月期第2四半期（中間期）
決算補足説明資料

MRKホールディングス株式会社

東証スタンダード 9980

2024年11月14日

■第2四半期（中間期）連結業績ハイライト

補整下着販売が好調に推移し
売上、営業利益ともに
計画を上回る

前年同期比
増収増益を達成

■売上高

前年同期比 **795**百万円 **増収**
(108.6%)

■営業利益

前年同期比 **153**百万円 **増益**
(前年同期△126百万円)

■第2四半期（中間期）連結損益計算書

(百万円)

	2024年3月期 第2四半期累計	構成比	2025年3月期 第2四半期累計	構成比	増減額	前期比
売上高	9,226	100.0%	10,021	100.0%	795	108.6%
売上総利益	7,021	76.1%	7,485	74.7%	464	106.6%
営業利益	△126	—	27	0.3%	153	—
経常利益	△26	—	110	1.1%	136	—
親会社株主に帰属する 中間純利益	△55	—	△ 8	—	46	—

■第2四半期（中間期）連結貸借対照表

(百万円)

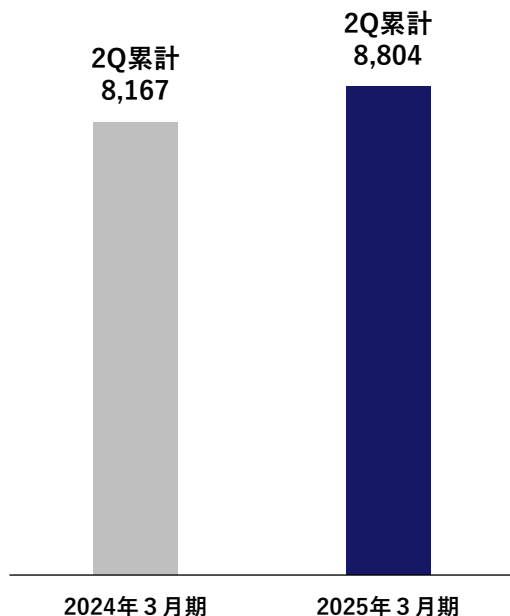
	2024年3月末	2024年9月末	増減額	主な要因
流動資産	16,215	14,523	△ 1,692	短期貸付金、現金及び預金、売掛金の減少
固定資産	5,805	5,797	△ 8	無形固定資産、退職給付に係る資産の減少
資産合計	22,021	20,320	△ 1,701	
流動負債	5,570	4,659	△ 910	1年内返済予定の長期借入金、買掛金の減少
固定負債	1,892	1,258	△ 633	長期借入金の減少
純資産	14,558	14,401	△ 156	親会社株主に帰属する中間純損失の計上、 剰余金の配当による利益剰余金の減少
負債純資産合計	22,021	20,320	△ 1,701	



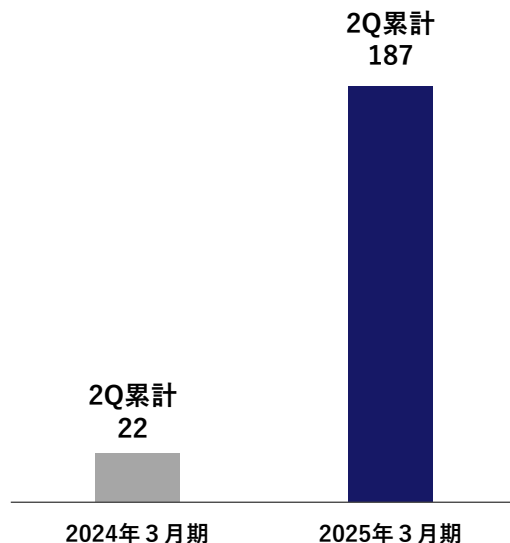
婦人下着及びその関連事業

■ 婦人下着及びその関連事業

セグメント売上高推移 (百万円)



セグメント利益推移 (百万円)



採用育成の強化による 販売力の向上

2025年3月期上期の要因

- 「デコルテリュミエス イデラ」の新色を2024年8月に発売し好評を博す
- ネット販路の拡大により、オンライン・オフライン両軸でリピート購入が増加
- 中長期的な成長を目指し、従業員満足度の向上及び人財育成のため、給与体系の見直しによる人件費増など、先行投資を実施

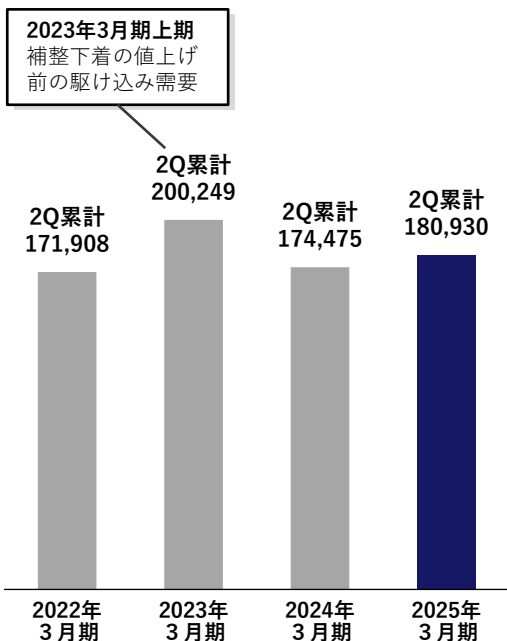
下期の主な取組み

- お客様参加型のイベント開催による顧客基盤の強化 (MCSA2024)
- 人財育成の継続強化による販売力の更なる向上
- 美と健康に関する新商品開発および投入

■ 婦人下着及びその関連事業



一人当たりの平均購入金額 [※] 推移 (円)



※ オンラインショップ売上を除くMARUKO店舗売上を基に算出。

※ 上記の客単価にはポイント値引を反映しておりません。

MARUKO

顧客満足度の 向上による 顧客単価の上昇

- ダイヤモンドVIP会員制度新設など顧客満足度の向上に努め、リピート購入が伸長
- 新商品販売が好調に推移
補整下着「デコルテリュミエスイデラ」(数量限定)・「リベルディーニュ」の新色など
- 販売社員の人員純増と育成により更なるきめ細やかなサービスを提供

■ 婦人下着及びその関連事業



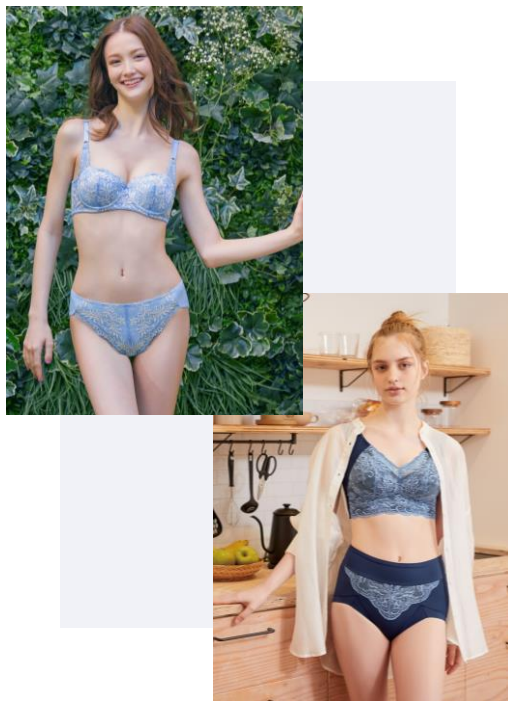
 MARUKO

MCSA2024

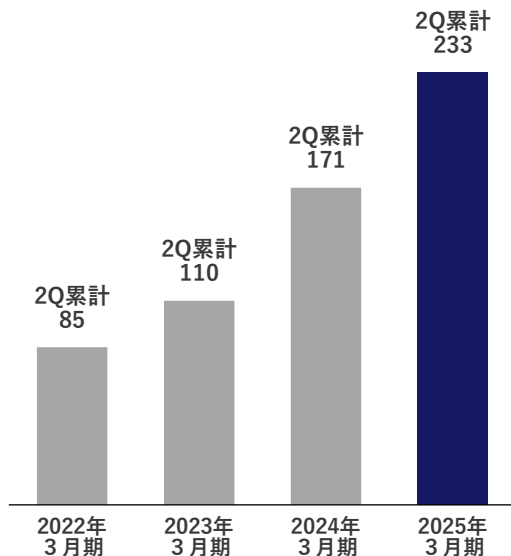
2024年11月13日
名古屋国際会議場
センチュリーホールにて開催

- MCSA（マルコシンデレラストーリーアワード）は体型補整下着を通じて、美を追求し続ける全ての女性を対象にしたコンテスト
- 受賞者を起用したテレビ新CMを制作予定
- お客様参加型のイベント開催による顧客基盤の強化を図る

■ 婦人下着及びその関連事業 『マキジェリック』（補整ランジェリー）



マキジェリック売上高[※]推移（百万円）



※ 上記の売上高にはポイント値引を反映しておりません。

Maquigerie
by MARUKO

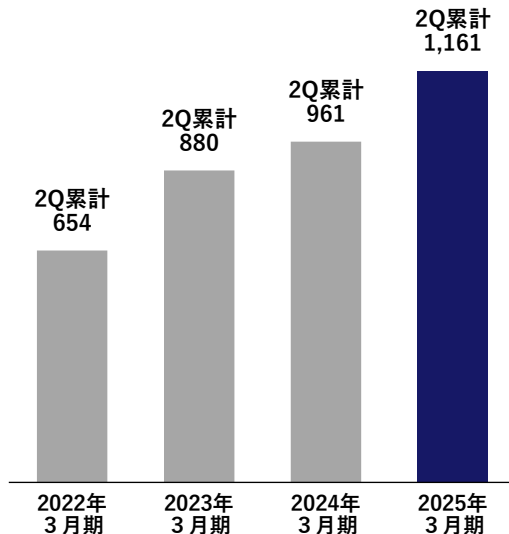
商品ラインアップの
拡充により
前年同期比135.9%

- 新色展開や商品ラインアップの拡充により売上高が好調に推移
- 2024年4月より全国の営業店で販売開始
店頭・オンラインショップの両軸においてリピート購入が増加

■ 婦人下着及びその関連事業 (Eコマース)



EC売上高[※] 推移 (百万円)



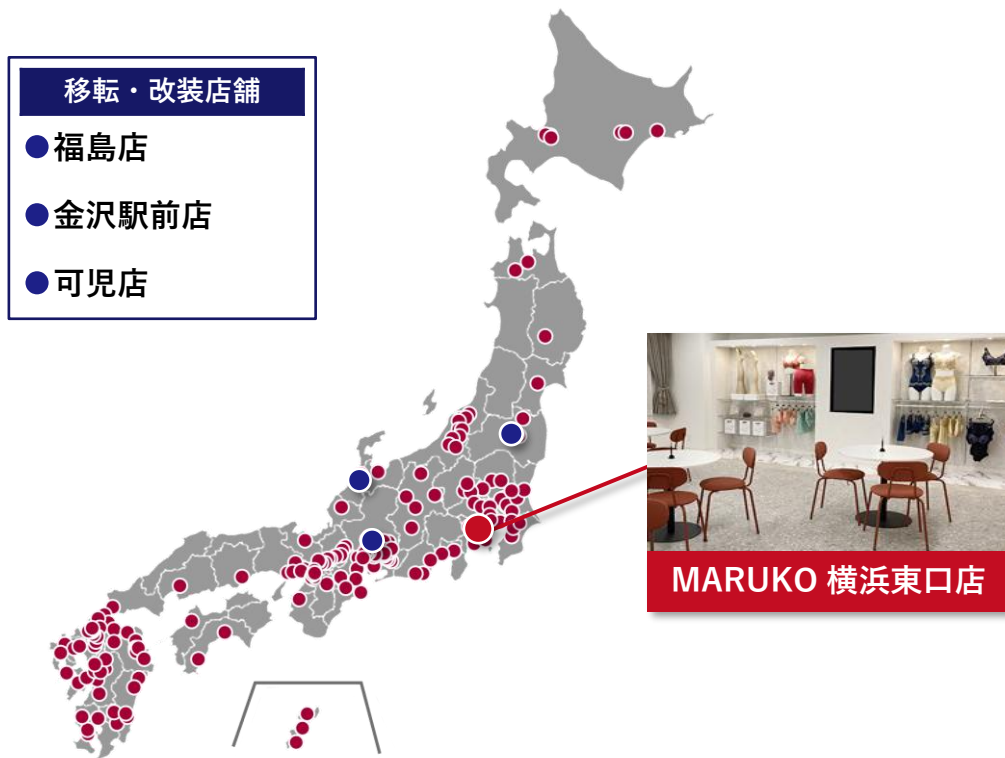
※ 上記の売上高にはポイント値引を反映しておりません。

MARUKO

定期購入が好調に推移し 前年同期比120.9%

- マキジェリークおよび定期購入サービスの充実と、店舗と連動した利用促進が奏功、定期売上高が前年同期115.5%と好調に推移
- ユーザビリティ向上により、リピート購入が増加
- オンラインショップ限定施策の実施により、販売目標を大幅に上回る

■ 婦人下着及びその関連事業（MARUKO店舗展開）



 **MARUKO**

顧客満足度向上に向けた
新規出店及び
移転・改装を推進

2025年3月期上期実績

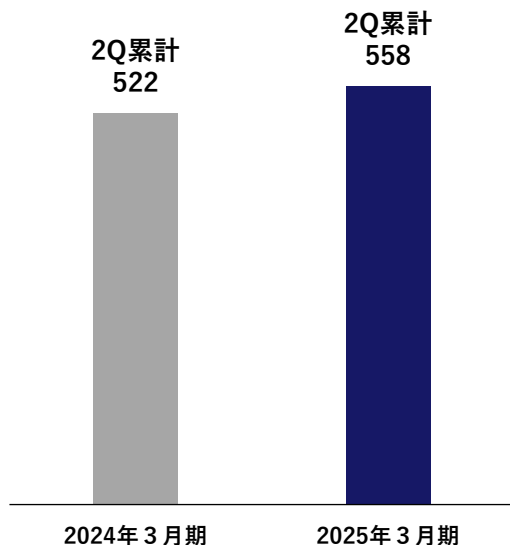
新規出店	1店舗
移 転	1店舗
改 装	2店舗
9月末店舗数	208店舗



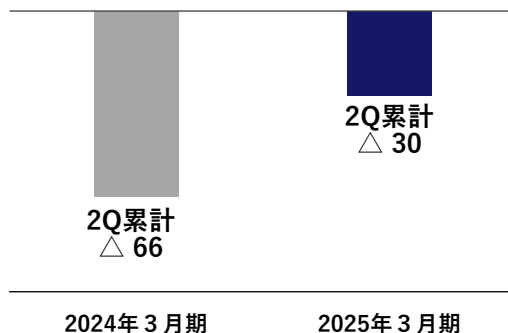
マタニティ及びベビー関連事業

■ マタニティ及びベビー関連事業

セグメント売上高推移 (百万円)



セグメント利益推移 (百万円)



ANGELIEBE

プロモーション及び
商品戦略が奏功
購入件数が増加し
増収を達成

2025年3月期上期の要因

- ターゲット顧客層に効果的にアプローチする商品展開を拡充
- SNSを中心にプロモーションを強化、集客力が向上
- 上記施策に加え、配送サービスの拡充により顧客満足度が向上
EC売上高前年同期比 111.7%

下期の主な取組み

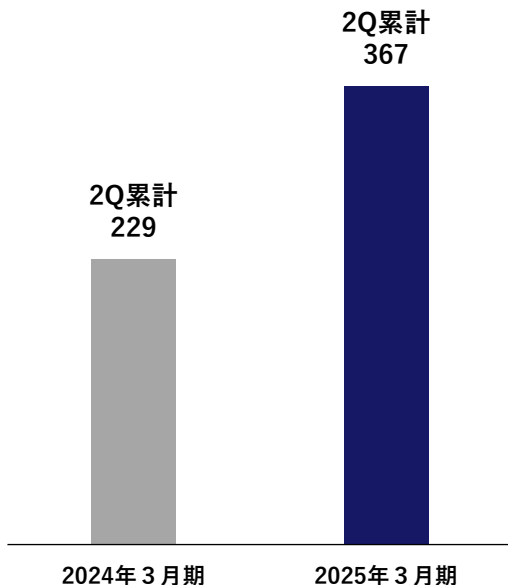
- 顧客ニーズに応える新商品・サービスの開発の推進
- SNSを中心としたプロモーション強化を継続



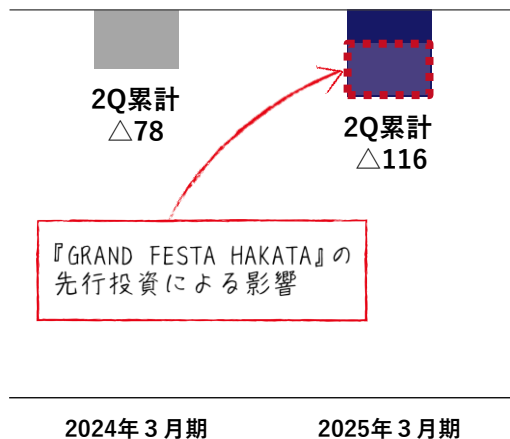
婚礼・宴会関連事業

■ 婚礼・宴会関連事業

セグメント売上高推移 (百万円)



セグメント利益推移 (百万円)



4期連続増収 中長期的な成長に向け 先行投資を実施

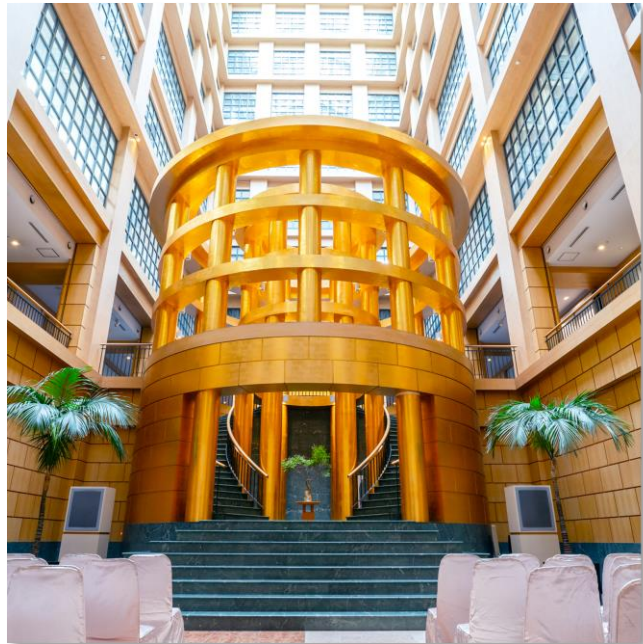
2025年3月期上期の要因

- 法人宴会を中心に宴会需要の取り込みが順調に推移
- 自社主催のイベント実施などにより、売上が伸長
- 新施設『GRAND FESTA HAKATA』（福岡市）において、プロモーション及び人員拡充など先行投資を実施

下期の主な取組み

- 法人営業体制の強化による売上拡大
- プロモーション強化とオリジナリティのあるプラン提案で婚礼需要の取り込みを促進

■ 婚礼・宴会関連事業



グランフェスタ博多 2024年7月1日 グランドオープン

- 博多駅徒歩7分ラグジュアリーホテル「THE BASICS FUKUOKA」内の婚礼宴会施設。

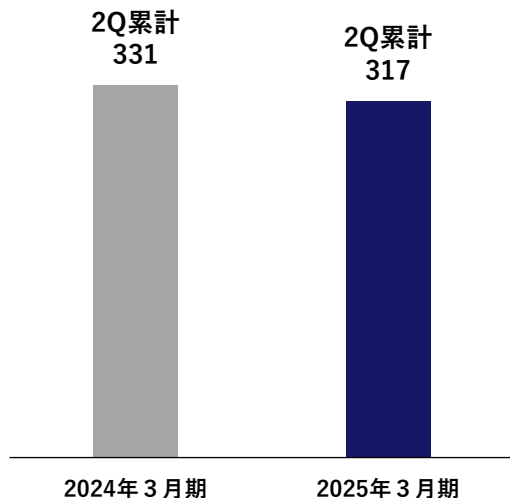
少人数利用から、180名まで着席可能なバンケットなど、招待人数や、パーティースタイルに合わせて選べる5会場が揃っています。
ウエディングや各種パーティーなど、経験豊富なスタッフが対応いたします。



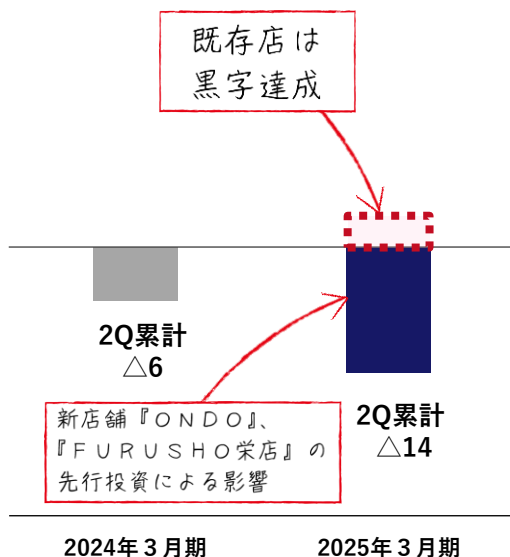
その他（主に美容関連事業）

■ その他（主に美容関連事業）

セグメント売上高推移（百万円）



セグメント利益推移（百万円）



ヘアサロンの新規出店や人材採用・育成への投資を実施

2025年3月期上期の要因

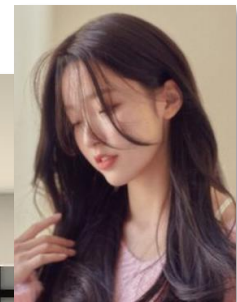
- 安定した顧客基盤に加え、新規顧客の獲得が進む
- 不採算店舗を整理、収益改善を図る
- 中長期的な成長を目指し、ヘアサロン出店や採用育成の強化、育成に伴う先行投資を実施

下期の主な取組み

- スタイルリストの採用と育成を強化し、安定した収益基盤を構築
- 報酬体系の見直しによる従業員満足度の向上、一人当たり生産性の向上

■ その他（主に美容関連事業）

ONDO



ヘアサロン「ONDO」

FURUUCHO

ONDO（オンド）
2024年8月30日
ニューオープン

- 韓国ビューティーのトレンドを取り入れたヘアサロン「ONDO」を8月30日にルクア大阪にニューオープン。

K-Beautyなスタイル、艶感溢れる健康美な艶髪、韓国俳優のようなメンズスタイル、ONDO独自の高い技術を提供。

■ 店舗展開



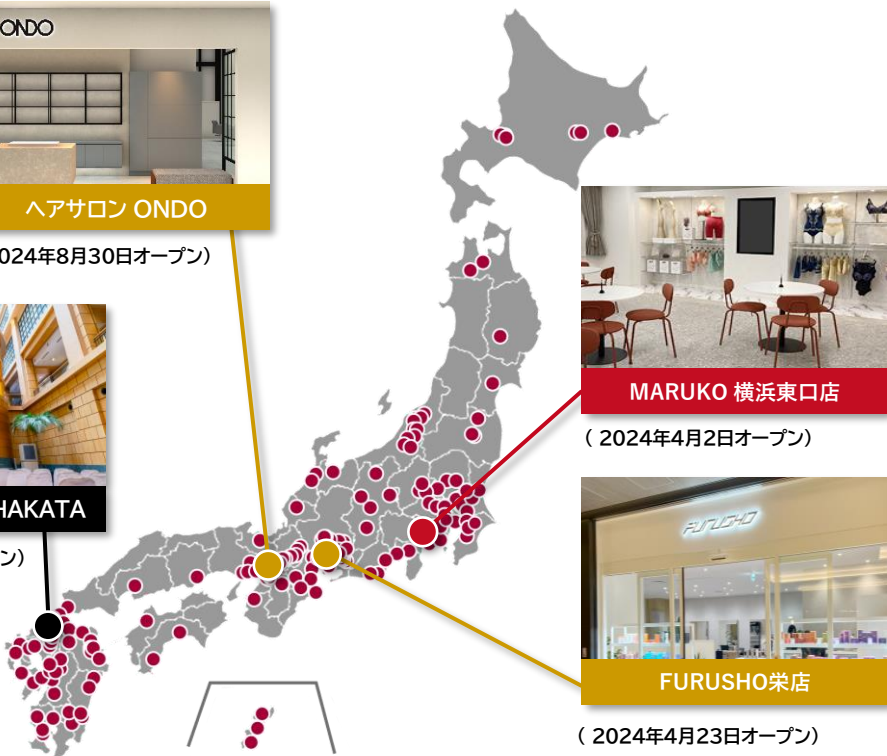
ヘアサロン ONDO

(2024年8月30日オープン)



GRAND FESTA HAKATA

(2024年7月1日オープン)



MARUKO 横浜東口店

(2024年4月2日オープン)



FURUSHO 栄店

(2024年4月23日オープン)



顧客満足度向上に向け、
新規出店及び
移転・改装を推進

全 国 223店舗
(2024年9月30日時点)

MARUKO	208店舗
エンジェリーベ	2店舗
ヘアサロン	7店舗
ブライダル	3店舗
カフェ・レストラン	3店舗

通期業績予想

■ 2025年3月期連結業績予想

(百万円)

	2024年3月期	構成比	2025年3月期	構成比	増減額	前期比
売上高	19,584	100.0%	21,200	100.0%	1,615	108.2%
営業利益	552	2.8%	880	4.2%	327	159.3%
経常利益	617	3.2%	1,000	4.7%	382	162.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	225	1.2%	580	2.7%	354	257.5%

免責事項

本資料は、当社および当社グループの企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがありますので、予めご了承ください。